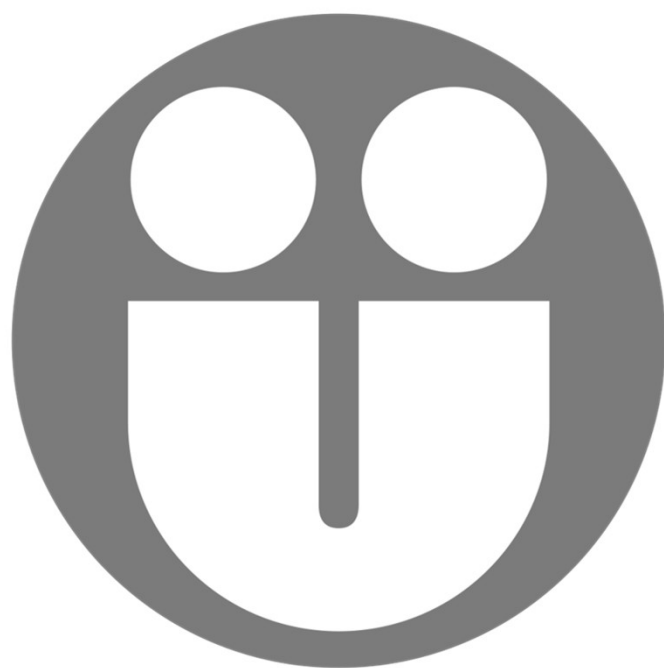


令和8年度 理事会議案書



日時 令和8年7月22日（水）17時～

場所 かめ福オンライン

公益財団法人

日本ICTテレコムユーザー協会

山 口 支 部

会 議 次 第

1. 開 会

2. 議長選出

3. 議 事

第1号議案 役員の一部変更（案）

第2号議案 令和7年度の事業活動報告 及び 決算報告

第3号議案 令和8年度の事業活動計画（案） 及び 収支予算（案）

第4号議案 支部会則の変更（案）

第5号議案 エコキャップ回収ボランティア活動に対する感謝状贈呈規程の
変更（案）

第6号議案 エコキャップ回収ボランティア活動に対する感謝状贈呈について

その他

4. 議長解任

5. 閉 会

（注）本議案書に掲載しております「個人名・企業名」につきましては、
“順不同・敬称略”とさせていただきます。

第1号議案

令和8年度

(公財)日本ICTテレコムーザー協会 山口支部 役員名簿(案)

役職名	氏 名	所属会社等・役職名	前年度役員
支 部 長	河 野 康 志	山口商工会議所 会頭	
副支部長	中 原 文 典	長門商工会議所 会頭	
副支部長	羽 嶋 秀 一	防府商工会議所 会頭	
副支部長	藤 本 憲 治	柳井商工会議所 会頭	
副支部長	豊 島 貴 子	岩国商工会議所 会頭	
副支部長	曾 我 徳 将	下関商工会議所 会頭	
※ 副支部長	山 縣 賢 一 郎	萩商工会議所 会頭	藤 井 敏
※ 副支部長	久 次 幸 夫	宇部商工会議所 会頭	杉 下 秀 幸
※ 副支部長	岡 田 哲 矢	徳山商工会議所 会頭	原 田 康 宏
支部理事	吉 野 一	美祢市商工会 会長	
※ 支部理事	漆 原 正 己	株式会社山口銀行 経営管理部長	田 中 尚 己
支部理事	山 岡 靖 幸	株式会社西京銀行 取締役副頭取	
※ 支部監事	柳 井 孝 紀	株式会社山口銀行 山口ブロック次長	梅 地 秀 男
支部監事	友 景 真 一	株式会社山口井筒屋 業務部長	
※ 顧 問	東 淳 史	NTT西日本株式会社 山口支店 支店長	西 一 仁
顧 問	吉 岡 昌 紀	株式会社ドコモCS中国 山口支店 支店長	

※印は新任役員

令和7年度 事業活動報告

1. 事業活動

(1) 電話対応に関する研修活動

① 商工会議所主催の「新入社員等研修」に共催

と き：令和7年4月～10月

ところ：県支部管内 10会場

参加者：130事業所 284名

地区	と き	ところ	参加者
山口	令和7年5月27日	山口商工会議所	12事業所 19名
萩	令和7年4月16日	萩市福祉センター	15事業所 50名
周南	令和7年4月11日	徳山商工会議所	22事業所 40名
周南	令和7年10月15日	徳山商工会議所	14事業所 29名
周南	令和7年4月2日	下松商工会議所	12事業所 20名
周南	令和7年4月9日	光商工会議所	15事業所 36名
周南	令和7年4月2日	新南陽商工会議所	11事業所 16名
岩国	令和7年4月23日・24日	岩国市民文化会館	13事業所 33名
岩国	令和7年4月7日	大竹商工会議所	6事業所 11名
柳井	令和7年4月4日	柳井商工会議所	10事業所 30名

② 「電話対応・ビジネスマナー研修」を開催（商工会議所と共同開催）

と き：令和7年5月～11月

ところ：県支部管内 4会場

参加者：23事業所 48名

地区	と き	ところ	参加者
山口	令和7年9月3日	山口商工会議所	3事業所 4名
防府	令和7年5月7日	防府市創業・交流センター	8事業所 19名
下関	令和7年11月5日	下関商工会館	6事業所 11名
宇部	令和7年7月2日	COCOLAND	6事業所 14名

③ 「クレーム電話対応研修」等の紹介

概 要：全国参加型のオンラインによるクレーム電話対応研修等の5研修をホームページによりご案内

④「電話対応コンクール事前研修」を実施

と き：令和7年4月～8月

ところ：各参加事業所で個別に実施

参加者：14事業所 104名

概 要：「電話対応コンクール」参加事業所に事務局が訪問する方式で実施。
参加者全員にきめ細かな研修を実施した。

⑤ 映像視聴による自己学習を実施（「電話対応コンクール事前研修」の追加施策）

と き：令和7年6月～10月

ところ：職場や自宅でパソコンやスマートフォンなどを利用

概 要：「事前研修」の補完教材として、少しでも研修に役立てられるよう、映像
視聴による自己学習ツールを用意。

地区	参加者
山口	6事業所 35名
防府	2事業所 6名
萩	1事業所 17名
長門	参加なし
下関	3事業所 10名
宇部	6事業所 45名
周南	1事業所 1名
岩国	参加なし
柳井	参加なし
合計	19事業所 114名

⑥「電話対応コンクール地区大会」用録音を実施

と き：令和7年4月～8月

ところ：各参加事業所等

概 要：リトライありで実力が十分発揮できる方式で実施した。

悪かった部分を何度もやり直し、参加者の納得の行くまで繰り返したことに
より研修の深みが増した。

⑦「電話対応コンクール地区審査」を実施

結果発表：令和7年8月18日

審査方法：あらかじめ録音した対応模様による
審査

審査員：池田 美和子（ボアブラン 代表）
上田 美代子（オフィス桜）

地区	参加事業所・参加数者
山口	4事業所 32名
防府	1事業所 4名
萩	1事業所 16名
長門	参加なし
下関	3事業所 9名
宇部	4事業所 42名
周南	1事業所 1名
岩国	参加なし
柳井	参加なし
合計	14事業所 104名

地区ごとの入賞者数は次のとおり

山口	防府	萩	長門	下関	宇部 山陽小野田 美祢	周南	岩国 大竹	柳井 大島	総計
19	2	12	—	8	6	1	—	—	48

⑧「電話対応コンクール山口県大会事前研修会」を開催

と き：令和7年9月5日

ところ：ユウベルホテル松政

参加者：県大会出場予定の28名

講 師：松原 淳子（オーブ パーソナリティオフィス、ユーザ協会契約講師）

概 要：出場予定者が一堂に会し、講師のアドバイスを受けるとともに、対応内容についてグループディスカッションを通じ、他の参加者との意見交換・共有を図った。また、普段交流のない他事業所の社員との親睦も図った。

⑨「電話対応コンクール山口県大会」を開催

と き：令和7年10月3日

ところ：ユウベルホテル松政

参加者：地区大会で選出された33名

概 要：競技模様をYouTubeにて配信。後日、参加者の競技模様を再度YouTube配信し、自身の対応の振り返りや電話対応技能の向上に役立てていただいた。

審 査：委員長 香川 純也（テレビ山口株式会社 報道制作局 アナウンス部長）

委 員 杉下 秀幸（宇部商工会議所会頭）

委 員 安藤 万結（山口朝日放送株式会社 アナウンサー）

委 員 野関 由味子（株式会社フェスティナ・レンテ代表取締役）

委 員 池田 美和子（ボアブラン代表）

入賞者：次の表のとおり。

三井住友海上火災保険株式会社 中国損害サポート部

山口保険金お支払センター 伊藤 泰子さんが山口県代表に決定した。

⑩「電話対応コンクール全国大会事前研修」を実施

と き：令和7年10月～11月

ところ：代表選手勤務先事業所

参加者：山口県代表選手 伊藤 泰子

自然な対応を目指して特訓を実施、レベルアップを図った。

第2号議案

賞	氏 名	事 業 所 名	地 区
優 勝	伊藤 泰子	三井住友海上火災保険株式会社 中国損害サポート部 山口保険金お支払センター	山口
準優勝	若月 歩佳	三井住友海上火災保険株式会社 中国損害サポート部 山口保険金お支払センター	山口
第3位	森川 直樹	三井住友海上火災保険株式会社 中国損害サポート部 山口保険金お支払センター	山口
敢闘賞	三好 まり子	損害保険ジャパン株式会社 中国保険金サービス第一部 山口保険金サービス第二課	下関
敢闘賞	古城 花梨	三井住友海上火災保険株式会社 中国損害サポート部 山口保険金お支払センター	山口
敢闘賞	竹山 猶子	個人会員	宇部山陽小野田 美祢
NTT特別賞	近藤 雄樹	株式会社三友	防府
NTT特別賞	村上 紗月	Y I C情報ビジネス専門学校 ホテル・ブライダル学科	山口
NTT奨励賞	河野 佳子	NTTビジネスソリューションズ株式会社 カスタマーサクセス部 カスタマーリレーション部門 山口カスタマーコンタクトセンタ	山口
NTT奨励賞	荒木 大輔	損害保険ジャパン株式会社 中国保険金サービス第一部 山口保険金サービス第二課	下関
新人賞	渡邊 愛	Y I C情報ビジネス専門学校 ホテル・ブライダル学科	山口

※ 敬称略



⑪「第64回 電話対応コンクール全国大会 in 仙台」へ参加

と き：令和7年11月14日

ところ：仙台サンプラザホール（仙台市）

参加者：各県の代表56名が参加 ＜山口県代表選手 伊藤 泰子＞
（全国から5,839名が予選に参加）

山口県代表の伊藤 泰子さんは、健闘されたが惜しくも入賞には至りませんでした。



全国大会で熱演する 三井住友海上火災保険株式会社 伊藤 泰子さん

⑫「企業電話対応レベル診断」を呼びかけたが参加事業所はなかった。

概要：事務局が予告無しに、仮のお客様となって事業所に電話をかけ、対応模様を録音し複数の専門家による診断を行う。

診断結果は、アドバイスを付けた報告書にまとめ、対応模様を録音したCDと共に責任者へ送付する。

本部主催の「企業電話対応コンテスト」へは、県内から6事業所が参加

⑬「電話対応技能検定」（もしもし検定）を実施

概要：電話対応等のビジネスシーンにおけるお客様対応のエキスパートとして即戦力となり得る人材育成を目指し、ユーザ協会が設立した『もしもし検定』を実施。

4級	5回実施	受験者	53名	合格者	30名
3級	3回実施	受験者	9名	合格者	7名
2級	2回実施	受験者	3名	合格者	2名
1級	0回実施	受験者	0名	合格者	0名

令和7年度末、山口県支部で受験した各級の資格保持者は次のとおり

4級	—	546名
3級	—	228名
2級	—	29名
1級	—	6名
指導者級保持者	—	12名

※IBT(インターネット)による受験状況：6月以降の偶数月に実施
4級のみ 受験者 3名 合格者 2名

⑭「電話対応出前研修」を実施

概要：事務局が事業所に訪問する方式で実施。電話対応に特化した研修を行う。
実際の対応を録音し、録音した自身の対応を聴き、普段の電話対応を振り返りながら研修する。

7事業所 延べ10回 68名が参加

(2) ICT活用推進に関する活動

①「ICTセミナー」の開催

概要：企業の経営者や実務担当の皆様向けに「DX」「AI」「セキュリティ」「テレワーク」「リテラシー」等のセミナーを開催。

○ 総会時にミニセミナーを開催

演 題：「周南自動運転EVバス実証運行の取り組み」

9回開催（92事業所 92名が参加）

○ オンラインセミナーを開催

<中国5支部合同開催セミナー>

実施日	講座名	講師	形式	事業所数	参加者数
1月30日	2025年度オンラインセミナー	馬淵磨理子 他	オンライン	62	65

<本部・他支部主催オンラインセミナー（相乗り）>

実施日	講座名・講演内容	講師	形式	事業所数	参加者数	開催支部
4月16日	2025 DXリテラシー講座	株式会社リコー 廣野元久	オンライン	4	4	本部
5月21日	地域活性化！「未来のまちづくり」セミナー	田中里沙 他	〃	7	8	〃
6月19日	2025サイバーセキュリティ対策講座【第2弾】	警視庁 サイバーセキュリティ対策本部 担当官 他	〃	4	6	〃
7月9日	「大前さんに『日本の農業・食料問題』を学ぼう」	大前研一	〃	12	20	〃
8月28日	DX活用講座	佐々木一敏 他	〃	8	10	〃
9月8日	「脳と生成AIが導くビジネス成功戦略」セミナー	茂木健一郎 他	〃	4	23	〃
10月30日	2025サイバーセキュリティ対策講座【第3弾】	警視庁 サイバーセキュリティ対策本部 担当官 他	〃	3	6	〃
11月19日	新・働き方改革セミナー	石倉秀明 他	〃	4	9	〃
12月19日	人手不足時代のICTによる成長戦略	有限会社糸びや 小田島春樹 他	〃	1	1	〃
1月22日	大前さんに聞いてみよう！	大前研一	〃	14	15	〃
2月19日	2026サイバーセキュリティ対策講座【第1弾】	篠嶋秀雄 他	〃	3	3	〃
3月25日	「生成AI時代に日本が勝つためのポイント」セミナー	岡田武史 他	〃	8	17	〃
※ 上記の他、他支部主催セミナー 2講座を紹介			合 計	72	122	

主な講師の方々



馬淵 磨理子氏
(経済アナリスト)



田中 里沙氏
(事業構想大学院
大学 学長)



大前 研一氏
(株)ビジネ・ブレ
クスル)



茂木 健一郎氏
(脳科学者)



岡田 武史氏
(元サッカー日本
代表監督)

②「標的型攻撃メール予防訓練サービス」の実施

概要：1 会員様 10 メールアドレスを対象に無料で予防訓練を体験。

2 事業所が体験実施

③「eラーニングサービス」の実施

概要：1 事業所 20 名様まで無料で研修を体験。インターネットに接続されたパソコンやスマートホンで、いつでも・どこでも学習することが可能。

5 事業所が体験学習実施

(3) その他の活動

○エコキャップ回収活動

25 会員に協力いただき実施。 3,135 kg を回収。

2. 諸会議

(1) 令和7年度総会

と き：令和7年5月～7月

ところ：支部内9地区協会で実施

議 案：第1号議案 令和6年度 事業活動報告 及び 決算報告

第2号議案 地区協会の支部統合について(案)

第3号議案 表彰について(案)

その他

(2) 令和7年度山口県支部理事会

と き：令和7年7月17日

ところ：かめ福オンライン（山口市）

議 案：第1号議案 令和6年度 事業活動報告 及び 決算報告

第2号議案 令和7年度事業活動計画（案）及び収支予算（案）

第3号議案 地区協会の支部統合（案） 及び 役員の一部変更（案）

第4号議案 支部会則の変更（案） 及び 会費規程の変更（案）

その他

3. 組 織（会員数）

	令和6年度末 会員数	令和7年度末 会員数	純増減
山口支部	426	401	▲25

令和7年度決算報告

自：令和 7年4月 1日

至：令和 8年3月31日

収入の部（単位：円）

勘定科目		予算額(a)	決算額(b)	差額(b)-(a)	備考
会費収入		1,910,000	2,038,300	128,300	
	会員会費収入	1,910,000	2,038,300	128,300	
事業収入		9,850,000	9,848,600	-1,400	
	電話対応競技収入	4,260,000	4,419,443	159,443	
	業務提携収入	4,260,000	4,419,443	159,443	
	地区大会	380,000	296,326	-83,674	
	県・全国大会	3,880,000	4,123,117	243,117	
	対応研修・セミナー収入	1,580,000	1,344,317	-235,683	
	業務提携収入	1,280,000	1,055,317	-224,683	
	その他(参加料)	300,000	289,000	-11,000	
	I C T 関連セミナー収入	1,000,000	692,691	-307,309	
	業務提携収入	1,000,000	692,691	-307,309	
	その他(参加料)	0	0	0	
	もしもし検定収入	610,000	511,823	-98,177	
	業務提携収入	470,000	362,223	-107,777	
	その他(参加料)	140,000	149,600	9,600	
	その他事業収入	2,400,000	2,880,326	480,326	
	業務提携収入	2,400,000	2,880,326	480,326	
	その他	0	0	0	
雑収入		3,783	10,536	6,753	
	受取利息収入	3,783	10,536	6,753	
内部取引収入		0	0	0	
	運営資金収入	0	0	0	
当年度収入合計		11,763,783	11,897,436	133,653	
前年度繰越額		16,466,573	16,466,573	0	
収入合計		28,230,356	28,364,009	133,653	

支出の部（単位：円）

勘定科目	予算額(a)	決算額(b)	差額(b)-(a)	備考
事業費	7,301,400	6,493,259	-808,141	
電話対応競技会費	4,576,400	4,413,993	-162,407	
旅費交通費	600,000	833,980	233,980	
委託費	1,320,000	1,194,657	-125,343	
会場費	642,400	681,560	39,160	
表彰賞品費	394,000	325,877	-68,123	
その他	1,620,000	1,377,919	-242,081	
応対研修・セミナー等費	1,255,000	1,060,992	-194,008	
講師委託費	600,000	465,843	-134,157	
共催負担金	510,000	460,000	-50,000	
会場費	45,000	38,450	-6,550	
その他	100,000	96,699	-3,301	
I C T関連セミナー等費	1,000,000	692,691	-307,309	
委託費	900,000	631,485	-268,515	
その他	100,000	61,206	-38,794	
もしもし検定費	470,000	325,583	-144,417	
講師委託費	340,000	308,349	-31,651	
その他	130,000	17,234	-112,766	
その他事業費	0	0	0	
その他事業費	0	0	0	
組織強化費	0	0	0	
その他	0	0	0	
管理費	3,961,815	3,734,779	-227,036	
会議費・諸経費	3,961,815	3,734,779	-227,036	
総会・理事会会議費	1,406,885	1,358,948	-47,937	
表彰費	3,000	2,955	-45	
通信費	390,000	332,124	-57,876	
旅費交通費	270,000	308,120	38,120	
その他経費	1,891,930	1,732,632	-159,298	
内部取引支出	1,063,152	1,090,824	27,672	
上部費支出	839,526	867,472	27,946	
その他支出	223,626	223,352	-274	
当年度支出合計	12,326,367	11,318,862	-1,007,505	
収入合計	28,230,356	28,364,009	133,653	
繰越差額	15,903,989	17,045,147	1,141,158	

山口支部

収支比較表

(単位: 円)

収入決算額	支出決算額	差引残高	備考
28,364,009	11,318,862	17,045,147	次年度へ

貸借対照表

(単位: 円)

借方			貸方		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
普通預金	2,399,188	山口銀行(湯田)	未払金	22,165	コピー機使用料他
	844,795	西中国信金(本店)	繰越金	17,045,147	次年度へ
	859,885	西中国信金(宇部)			
	892,517	西京銀行(本店)			
	135,764	西中国信金(岩国中央)			
	508,737	西京銀行(柳井)			
内部貸付金	9,791,691	本部経理部			
未収金	783,200	業務提携費			
棚卸資産	44,894	商品券他			
その他	806,641	固定資産合計			
合計	17,067,312		合計	17,067,312	

令和7年度会計監査

令和7年度(令和7年4月1日～令和8年3月31日)における
会計処理について監査した結果、出納簿・預金通帳ならびに証拠書類等は
適正に処理されており、決算報告のとおり相違ないことを認めます。

山口支部

令和8年5月18日

監事

柳井孝紀

監事

友景真一

令和8年度 事業活動計画（案）

1. 事業活動

（1）電話対応に関する研修活動

① 商工会議所主催の「新入社員等研修」に共催

と き：令和8年4月～

ところ：支部管内 9会場（9会議所）

参加者：106事業所 250名（4～5月実施分）

概 要：山口支部管内の商工会議所主催研修等に共催

② 「電話対応・ビジネスマナー研修」を実施中

と き：令和8年5月～

ところ：山口支部内 4会場（防府・宇部・山口・下関）

参加者：13事業所 24名（5月・7月実施分）

概 要：電話の対応に特化した研修を実施

自分で考えること、ロールプレイングをメインとした研修を行う。

録音した自分の対応模様を聞いて、しゃべり方のくせ、スピードなどの問題点を把握して改善する研修とする。

研修の最後にもしもし検定4級を受験し、その時点でのマナー等理解度を確認する試みも盛り込む。

各地区の商工会議所と共同開催。

③ 「電話対応コンクール事前研修」を実施中

と き：令和8年4月～7月末

ところ：参加各事業所で個別実施

概 要：事業所に事務局（講師）が訪問する方式で実施。

参加者全員を対象に研修を実施。

④ 映像視聴による自己学習を実施中（「電話対応コンクール事前研修」の追加施策）

と き：5月26日～10月8日

ところ：職場や自宅でパソコンやスマートホンなどを利用

概 要：「事前研修」の補完教材として、少しでも研修に役立てられるよう、映像視聴による自己学習ツールを用意。

⑤ 「電話対応コンクール地区審査」用録音を実施中

と き：令和8年4月～7月下旬

ところ：各参加事業所等

概 要：事業所訪問方式で実施中。

⑥「電話対応コンクール地区審査」を実施（予定）

結果発表：令和8年8月17日

審査：公平を期すため、2名で実施。（調整中）

入賞者：地区(エリア)毎に1名の最優秀賞を選出、併せて県支部内の上位40名程度を入賞者とし、県大会への出場権を付与。

希望があれば、競技模様を録音したCDをフィードバックする。

⑦「電話対応コンクール山口県大会事前研修会」を開催（予定）

と き：令和8年9月11日

ところ：ユウベルホテル松政（山口市）

講師：調整中

対象者：県大会への出場資格を持つ選手 40名程度

概要：講師からのアドバイスによりスキルアップを図るとともに、グループディスカッションを通じ、他の選手の対応や表現力についても学ぶことを目的とする。県大会と同じ会場で実施することにより、より本番に近い雰囲気を感じ、研修の効果を高める。

⑧「電話対応コンクール山口県大会」を開催（予定）

と き：令和8年10月9日

ところ：ユウベルホテル松政（山口市）

参加者：地区大会での入賞者 40名程度

概要：県大会での優勝者1名が山口県代表として、全国大会へ出場。競技模様等のユーチューブ配信を予定。

⑨「全国大会出場者の事前研修」を実施（予定）

と き：全国大会出場者決定後、複数回を予定

ところ：全国大会出場者勤務先事業所

⑩「電話対応コンクール全国大会」へ参加（予定）

と き：令和8年11月13日

ところ：福岡シンフォニーホール（福岡市）

参加者：山口県代表1名（県大会優勝者）を含む全国56名で競技。

概要：全国大会の様子は、ユーザ協会のホームページからインターネットのライブ中継で配信され、リアルタイムで大会の模様を閲覧できる。

山口県代表者の指名で1名の付き添いを選定。山口県大会の入賞者5名を研修生として派遣し、全国大会を聴講・応援する。

⑪「企業電話対応レベル診断」を実施中

と き：令和8年4月から随時受付中

概要：電話対応教育・企業のCS（顧客満足）向上を目的に広く診断希望者を募集する。

現時点 申込なし

本部主催の「企業電話対応コンテスト」も令和8年5月から受付中

⑫「電話対応技能検定」（もしもし検定）を実施中

概 要：広く受験者を募り、認知度向上、資格者の増員、さらに上のレベルの資格取得を目指すこととする。

3級 1回実施 受験者 1名 合格者 10名（5月実施分）

4級 1回実施 受験者 8名 合格者 10名（5月実施分）

⑬「電話対応出前研修」を実施中

と き：令和8年4月から随時受付中

概 要：事務局（講師）が事業所に訪問する方式で実施。電話対応に特化した研修を行う。

実際の対応を録音し、録音した自身の対応を聴き、普段の電話対応を振り返りながら研修する。

好評実施中 4月 5事業所 延べ6回 19名が参加

7月以降 1事業所 延べ3回予約受付済み

（2）ICT活用推進に関する活動

①「ICTセミナー」を開催中

企業の経営者や実務担当の皆様向けに「DX」「AI」「セキュリティ」「テレワーク」「リテラシー」等のメニューを取り揃え、開催いたします。

会員交流会時ICTミニセミナー：3回開催予定（8月開催予定）

オンラインセミナー・講座：3回開催（16事業所 31名が参加）

（4～6月実施分）

②「標的型攻撃メール予防訓練サービス」を実施中

1会員様10メールアドレスを対象に無料で予防訓練を体験いただけます。

訓練実施後に、訓練結果のご報告に加え、教育コンテンツ（web学習）を参加者全員に提供いたします。

1事業所が体験実施（4～6月実績）

③「eラーニングサービス」を実施中

1事業所20名様まで無料で研修を体験いただけます。「研修を計画できない」

「講習に参加する時間がない」という方でも、インターネットに接続されたパソコンやスマートホンで、いつでも・どこでも学習することができます。

1事業所が体験実施（4～6月実績）

(3) その他の活動

○エコキャップ回収活動

引き続き協力を呼びかけながら、継続実施することとする。

2. 諸会議

○ 令和8年度山口県支部理事会

と き：令和8年7月22日

ところ：かめ福オンブレイス（山口市）

議 案：第1号議案 役員の一部変更（案）

第2号議案 令和7年度の事業活動報告 及び 決算報告

第3号議案 令和8年度の事業活動計画（案） 及び 収支予算（案）

第4号議案 支部会則の変更（案）

第5号議案 エコキャップ回収ボランティア活動に対する感謝状贈呈規程の
変更（案）

第6号議案 表彰について
その他

3. 組織強化（会員数増）

「1つでも行事に参加していただけるとお得になります」

のお得感と、入会を促す魅力あるメニューを考え、周知の徹底を図ることにより、
退会防止及び新規会員獲得に努める。

令和8年度予算（案）

自：令和8年4月 1日

至：令和9年3月31日

収入の部（単位：円）

勘定科目		予算額(a)	前年実績(b)	差額(a)-(b)	備考
会費収入		1,813,500	2,038,300	-224,800	
	会員会費収入	1,813,500	2,038,300	-224,800	
事業等収入		9,808,600	9,848,600	-40,000	
	電話対応競技収入	4,310,000	4,419,443	-109,443	
	業務提携収入	4,310,000	4,419,443	-109,443	
	地区大会	370,000	296,326	73,674	
	県・全国大会	3,940,000	4,123,117	-183,117	
	応対研修・セミナー収入	1,479,000	1,344,317	134,683	
	業務提携収入	1,190,000	1,055,317	134,683	
	その他(参加料等)	289,000	289,000	0	
	I C T 関連セミナー収入	1,000,000	692,691	307,309	
	業務提携収入	1,000,000	692,691	307,309	
	その他(参加料)	0	0	0	
	もしもし検定収入	619,600	511,823	107,777	
	業務提携収入	470,000	362,223	107,777	
	その他(参加料等)	149,600	149,600	0	
	その他収入	2,400,000	2,880,326	-480,326	
	業務提携収入	2,400,000	2,880,326	-480,326	
	その他(参加料等)	0	0	0	
雑収入		10,536	10,536	0	
	受取利息収入	10,536	10,536	0	
内部取引収入		0	0	0	
	運営資金収入	0	0	0	
当年度収入合計		11,632,636	11,897,436	-264,800	
前年度繰越額		17,045,147	16,466,573	578,574	
収入合計		28,677,783	28,364,009	313,774	

支出の部（単位：円）

勘定科目	予算額(a)	前年実績(b)	差額(a)-(b)	備考
事業費	7,076,000	6,493,259	582,741	
電話対応競技費	4,629,000	4,413,993	215,007	
旅費交通費	683,000	833,980	-150,980	
委託費	1,260,000	1,194,657	65,343	
会場費	731,000	681,560	49,440	
表彰賞品費	355,000	325,877	29,123	
その他	1,600,000	1,377,919	222,081	
応対研修・セミナー等費	1,077,000	1,060,992	16,008	
講師委託費	457,000	465,843	-8,843	
共催負担金	460,000	460,000	0	
会場費	45,000	38,450	6,550	
その他	115,000	96,699	18,301	
I C T関連セミナー等費	950,000	692,691	257,309	
委託費	850,000	631,485	218,515	
その他	100,000	61,206	38,794	
もしもし検定費	420,000	325,583	94,417	
講師委託費	340,000	308,349	31,651	
その他	80,000	17,234	62,766	
その他事業費	0	0	0	
その他事業費	0	0	0	
組織強化費	0	0	0	
その他	0	0	0	
管理費	3,462,700	3,734,779	-272,079	
会議費・諸経費	3,462,700	3,734,779	-272,079	
理事会・会員交流会費	1,075,700	1,358,948	-283,248	
表彰費	13,000	2,955	10,045	
通信費	333,000	332,124	876	
旅費交通費	308,000	308,120	-120	
その他経費	1,733,000	1,732,632	368	(リース等含む)
内部取引支出	1,090,824	1,090,824	0	
上部費支出	867,472	867,472	0	
その他支出	223,352	223,352	0	(税分担等含む)
当年度支出合計	11,629,524	11,318,862	310,662	
収入合計	28,677,783	28,364,009	313,774	
繰越差額	17,048,259	17,045,147	3,112	

支部会則の変更（案）

【報告事項】

本部評議員会において、協会名称が変更されたので、以下のとおり会則を変更する。

協会名称を「日本電信電話ユーザ協会」から「日本ＩＣＴテレコムユーザー協会」へ変更する。

【審議事項】

事業名称を定款にあわせ、以下のとおり変更する。

この会則変更は、2026(令和8)年7月22日からとする。

支部会則（変更前）	支部会則（変更後）
第1章 総 則 （名称） 第1条 本支部は、公益財団法人日本電信電話ユーザ協会 山口支部（以下「支部」という。）と称する。 （事業） 第5条 本支部は、前条の目的を達成するため、定款に基づき次の事業を行う。 (1) ビジネスコミュニケーション事業 (2) ICT活用推進事業 (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業 第2章 会 員 （会員の構成） 第6条 この会の会員は、公益財団法人日本電信電話ユーザ協会の目的に賛同する団体又は個人とする。 附 則 本会則は、公益財団法人日本電信電話ユーザ協会の設立の日から施行する。	第1章 総 則 （名称） 第1条 本支部は、公益財団法人日本ICTテレコムユーザー協会 山口支部（以下「支部」という。）と称する。 （事業） 第5条 本支部は、前条の目的を達成するため、定款に基づき次の事業を行う。 (1) ビジネスコミュニケーション能力の向上を図る事業 (2) 情報通信技術・サービスの活用を推進する事業 (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業 第2章 会 員 （会員の構成） 第6条 この会の会員は、公益財団法人日本ICTテレコムユーザー協会の目的に賛同する団体又は個人とする。 附 則 本会則は、2026(令和8)年7月22日から施行する。

エコキャップ回収ボランティア活動に対する感謝状贈呈規程の変更（案）

協会名称の変更並びに地区協会の支部統合に伴い、以下のとおりエコキャップ回収ボランティア活動に対する感謝状贈呈規程を変更する。

この規程変更は、2026(令和8)年7月22日からとする。

感謝状贈呈規程（変更前）	感謝状贈呈規程（変更後）																																												
（目的） 第1条 本規程は、公益財団法人 <u>日本電信電話ユーザ協会</u> <u>山口県支部及び県内9地区協会</u>において、エコキャップ回収ボランティア活動に多大なる貢献・協力のあった会員にその社会貢献活動への取り組みに対し、感謝の意を表することを目的とする。 （感謝状の贈呈） 第2条 平成21年の活動開始以降のエコキャップ累計回収量が、以下の一定量となった時点（以下、基準達成という）で、感謝状を贈呈することとする。 なお、感謝状贈呈は、30,000kg達成時までとする。 <table><tr><th rowspan="2">累計回収量 （kg）</th><th rowspan="2">感謝状 贈呈</th><th rowspan="2">副賞金</th><th colspan="2">贈呈者</th></tr><tr><th>支部長</th><th>地区協会 会長</th></tr><tr><td>5,000kg以上</td><td>○</td><td>5千円相当</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>10,000kg以上</td><td>○</td><td>1万円相当</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>20,000kg以上</td><td>○</td><td>1万円相当</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>30,000kg以上</td><td>○</td><td>1万円相当</td><td>○</td><td></td></tr></table> （贈呈時期・贈呈者） 第3条 基準達成後、直近の<u>地区協会総会</u>にて<u>地区協会会長</u>から当該会員へ贈呈する。 なお、30,000kg達成時においては、直近の<u>県支部理事会</u>にて支部長から当該会員へ贈呈する。 （規程の適用） 第4条 本規程は、<u>令和3年7月27日</u>から適用する。	累計回収量 （kg）	感謝状 贈呈	副賞金	贈呈者		支部長	地区協会 会長	5,000kg以上	○	5千円相当		○	10,000kg以上	○	1万円相当		○	20,000kg以上	○	1万円相当		○	30,000kg以上	○	1万円相当	○		（目的） 第1条 本規程は、公益財団法人 <u>日本ICTテレコムユーザー協会</u> <u>山口支部</u>において、エコキャップ回収ボランティア活動に多大なる貢献・協力のあった会員にその社会貢献活動への取り組みに対し、感謝の意を表することを目的とする。 （感謝状の贈呈） 第2条 平成21年の活動開始以降のエコキャップ累計回収量が、以下の一定量となった時点（以下、基準達成という）で、感謝状を贈呈することとする。 なお、感謝状贈呈は、30,000kg達成時までとする。 <table><tr><th>累計回収量 （kg）</th><th>感謝状 贈呈</th><th>副賞金</th><th>贈呈者</th></tr><tr><td>5,000kg以上</td><td>○</td><td>5千円相当</td><td rowspan="4">支部長</td></tr><tr><td>10,000kg以上</td><td>○</td><td>1万円相当</td></tr><tr><td>20,000kg以上</td><td>○</td><td>1万円相当</td></tr><tr><td>30,000kg以上</td><td>○</td><td>1万円相当</td></tr></table> （贈呈時期・贈呈者） 第3条 基準達成後、直近の<u>会員交流会</u>にて当該会員の属するエリアの<u>支部長又は副支部長</u>から当該会員へ贈呈する。 なお、30,000kg達成時においては、直近の<u>支部理事会</u>にて支部長から当該会員へ贈呈する。 （規程の適用） 第4条 本規程は、<u>令和8年7月22日</u>から適用する。	累計回収量 （kg）	感謝状 贈呈	副賞金	贈呈者	5,000kg以上	○	5千円相当	支部長	10,000kg以上	○	1万円相当	20,000kg以上	○	1万円相当	30,000kg以上	○	1万円相当
累計回収量 （kg）				感謝状 贈呈	副賞金	贈呈者																																							
	支部長	地区協会 会長																																											
5,000kg以上	○	5千円相当		○																																									
10,000kg以上	○	1万円相当		○																																									
20,000kg以上	○	1万円相当		○																																									
30,000kg以上	○	1万円相当	○																																										
累計回収量 （kg）	感謝状 贈呈	副賞金	贈呈者																																										
5,000kg以上	○	5千円相当	支部長																																										
10,000kg以上	○	1万円相当																																											
20,000kg以上	○	1万円相当																																											
30,000kg以上	○	1万円相当																																											

「エコキャップ回収ボランティア活動」に対する感謝状贈呈について

≪2009(平成21)～2025(令和7)年度 回収状況≫

	地区協会名	会員事業所名	累計回収量 (kg)	感謝状贈呈(案)	
				感謝状贈呈	副賞
1	下関	山口県農業協同組合 下関統括本部 (下関農業協同組合)	16,095		
2	柳井大島	田布施町役場	10,153	○	○
3	周南	光商工会議所	7,736		
4	柳井大島	社会福祉法人さつき会 さつき園	6,384		
5	柳井大島	平生町役場	2,623		
6	萩	山口県農業協同組合 萩統括本部 (あぶらんど萩農業協同組合)	2,248		
7	周南	日本ゼオン株式会社 徳山工場	1,983		
8	長門	山口県農業協同組合 長門統括本部 (JA長門大津)	1,666		
9	周南	東ソー物流株式会社	1,492		
10	周南	新南陽商工会議所	1,078		

※以下、省略

【感謝状贈呈基準】

累計回収量 (kg)	感謝状 贈呈	副賞金	贈呈者
5,000kg以上	○	○	支部長
10,000kg以上	○	○	
20,000kg以上	○	○	
30,000kg以上	○	○	

以上の状況に基づき、基準を達成した会員の方へ「感謝状」を贈呈することとする。

贈呈は、会員交流会にて、当該会員の属するエリアの副支部長より実施する。